

PMI®資格



PMI®資格ハンドブック



目次

PMI®資格ハンドブックの使用方法	1
PMI資格認定プログラムについて	3
申請と支払い	4
申請方法	4
支払い方法	4
PMI監査プロセス	5
試験の方針と手続き	6
試験で使用する言語	6
受験上の配慮	6
受験に関する法的制約	7
受験資格	8
受験の予約方法	9
OPT試験およびCBT試験の予約変更/キャンセル方針	9
返金方針	11
酌量すべき事情	12
PMI試験のセキュリティと守秘義務	13
試験会場での要求事項と指示	15
試験レポート	19
資格認定の方針と手続き	20
資格認定料	20
再受験	23
資格認定苦情対応プロセス	24
資格認定の再審査請求手続き	25
PMI資格の使用について	26
資格認定継続要件（CCR）プログラム	27
CCRプログラムの概要	27
PMI倫理・職務規定	28
PMI資格認定申請/更新の同意条項	28

PMI®資格ハンドブックの使用方法

このハンドブックでは、次のことを行えます。

左側のナビゲーション・バーでトピックをクリックすると、各種方針または手続きに関する情報が表示されます。ハンドブック内の「注：」を読み、ヒントや重要な情報を確認できます。

ハンドブック内のリンクをクリックすると、オンライン申請システムやその他の情報にアクセスできます。

このハンドブックでは、その価値が世界で認知され高く評価されているPMI®資格の1つに申請した場合の流れを説明しています。このハンドブックは、すべての試験実施方法に適用されます。

資格認定プログラムには、以下が含まれます。

[プロジェクトマネジメント認定アソシエイト（CAPM）®資格](#)

[PMIアジャイル認定実務者（PMI-ACP）®資格](#)

[PMIビジネス・アナリシス・プロフェッショナル（PMI-PBA）®資格](#)

[PMIリスクマネジメント・プロフェッショナル（PMI-RMP）®資格](#)

[PMIスケジューリング・プロフェッショナル（PMI-SP）®資格](#)

[ポートフォリオマネジメント・プロフェッショナル（PfMP）®資格](#)

[プログラムマネジメント・プロフェッショナル（PgMP）®資格](#)

[プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル（PMP）®資格](#)

このハンドブックには、上記のPMIプロダクトに関する情報が記載されています。いずれかのディスプリンド・アジャイル資格に関する詳細情報をご希望の場合は、<https://www.pmi.org/certifications/agile-certifications>をご覧ください。

また、

Project Management Ready™の詳細情報をご希望の場合は、<https://www.pmi.org/certifications/pmi-project-management-ready> をご覧ください。

PMI資格認定の申請者はすべて、このハンドブック全体を読了する必要があります。このハンドブックは、資格の取得および維持に関する方針と手続きについて、重要な情報を提供することを目的としています。

PMIでは、資格ハンドブックの翻訳版を複数の言語で提供しています。異なる言語版の間で矛盾がある場合には、資格ハンドブックの英語版が優先されます。

PMI資格認定部会の使命

専門的資格認定プログラムを開始、確立、評価、維持、管理し、プロジェクトマネジメントの実務者および専門家を育成、支援します。

PMIの連絡先情報

資格認定プログラムに関する一般的な情報をご希望の場合は、お住いの地域のカスタマー・ケア・サービス・センターにお問い合わせください。連絡先は下記ページに記載されています：

<https://www.pmi.org/about/contact>

資格を維持するには、オンライン資格認定継続要件（Continuing Certification Requirements、CCR）システムをご利用ください。

<https://ccrs.pmi.org/>

資格ハンドブック最終更新日：2023年9月

© 2000-2023 Project Management Institute, Inc. All rights reserved.

改訂：2005、2006、2007、2008、2009、2010、2011、2012、2013、2014、2015、2016、2017、2019、2020、2022、2023

PMI、PMIのロゴ、Making project management indispensable for business results（プロジェクトマネジメントを業績に不可欠なものにする）、PMBOK、CAPM、Certified Associate in Project Management（プロジェクトマネジメント認定アソシエイト）（CAPM）、PMP、Project Management Professional（プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル）（PMP）、Project Management Professional（プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル）、PMPのロゴ、PgMP、Program Management Professional（プログラムマネジメント・プロフェッショナル）（PgMP）、PMI-RMP、PMI Risk Management Professional（PMIリスクマネジメント・プロフェッショナル）（PMI-RMP）、PMI-SP、PMI Scheduling Professional（PMIスケジューリング・プロフェッショナル）（PMI-SP）、PMI-ACP、PMI Agile Certified Practitioner（PMIアジャイル認定実務者）、PfMP、およびPortfolio Management Professional（ポートフォリオマネジメント・プロフェッショナル）（PfMP）は、Project Management Institute, Inc（プロジェクトマネジメント協会）の商標です。

PMI資格認定プログラムについて

PMI資格は、グローバルな展開と申請が他とは一線を画す特長があり、業界や地理的な境界に影響を受けないキャリア形成に役立つ資格です。単一のメソッド、スタンダード、組織に縛られず、グローバルに通用するのがPMI資格の強みです。

PMI資格認定プログラムは、すべての資格保有者が公正かつ有効な方法でコンピテンスを実証したことを保証するために設計されています。出願者のアセスメントでは、最も信頼できる試験方法の使用を徹底する必要がある、そのための措置が講じられました。PMIは、試験の開発と維持、および品質マネジメントに対し、厳格な要件を課しています。このことは、認証アクティビティにおいて公平性を維持し客観性を確保することの重要性を、PMIが確実に認めていることを意味します。

実務者のために、プロジェクトマネジメント実務者により開発されたPMI資格もあります。資格認定プログラムを主導するのは、PMIが使用する試験問題の作成および改善をボランティアで行う何千人もの資格保有者です。ボランティアの皆様はPMI市場の多様性を体現しており、世界のあらゆる地域や業界から、職務レベル、経験レベルを問わず多彩な人材が参加しています。

各資格の出願者アセスメントには、次の項目が使用されます。

教育および経験のレビュー – 各資格では、教育や実務経験が求められます。

パネル・レビュー – PgMP資格およびPfMP資格では、パネル・レビューが必要です。最初の評価は申請の詳細レビュー時に実施され、その際にプログラム・パネルまたはポートフォリオ・プロフェッショナルが、申請時に出願者が提出したマネジメント経験の概要に基づき経験を査定します。

試験 – 各出願者は、シナリオベースの質問を通して、プロジェクト、プログラム、および/またはポートフォリオマネジメントの概念と経験を、想定される職務上の状況に適用するよう求められます。

継続的能力開発 – PMI資格を維持するためには、継続的にPDU（Professional Development Unit）を取得する必要があります。

申請と支払い

申請方法

資格認定試験の受験資格を得るためには、オンラインPMI申請で特定の教育および実務経験を記載する必要があります。要求事項の詳細については、該当する資格の「試験内容の概要」を参照してください。

- [プロジェクトマネジメント認定アソシエイト（CAPM）®試験内容の概要](#)
- [PMIアジャイル認定実務者（PMI-ACP）®試験内容の概要](#)
- [PMIビジネス・アナリシス・プロフェッショナル（PMI-PBA）®試験内容の概要](#)
- [PMIリスクマネジメント・プロフェッショナル（PMI-RMP）®試験内容の概要](#)
- [PMIスケジューリング・プロフェッショナル（PMI-SP）®試験内容の概要](#)
- [ポートフォリオマネジメント・プロフェッショナル（PfMP）®試験内容の概要](#)
- [プログラムマネジメント・プロフェッショナル（PgMP）®試験内容の概要](#)
- [プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル（PMP）®試験内容の概要](#)

支払い方法

オンライン申請の処理が完了すると、PMIは出願者に支払いを求める通知をEメールで送信します。Eメールに記載された手順に従うか、またはmyPMIにアクセスしてお支払いください。

PMI監査プロセス

申請を提出した時点で、監査プロセス規約に準拠することを承諾したものとみなされます。すべての申請が監査対象ですが、実際に監査されるのは一部のみです。

実際の監査対象として選択された申請者には、資格認定料のお支払いの前にEメールで通知されます。Eメールによるこの監査通知には、監査条件を満たす方法が詳しく記載されています。

監査では、次のような補足書類の提出が求められます。

- 卒業証書（または世界的にそれに相当するとみなされるもの）のコピー
- 申請書の経験確認セクションに記載されたプロジェクトのスーパーバイザーまたはマネジャーによる署名
- 申請に必要な専門教育の受講時間として記載した各種コースを提供した研修機関発行の認定書および/または手紙のコピー

監査対象者は、これらの書類を90日以内に提出するよう求められます。監査プロセスの条件および要求事項を満たすために必要な書類を提出できる場合、監査は約5～7営業日で完了します。監査パッケージには、mypmi.orgダッシュボードからアクセスできます。すべての情報をダウンロードして受信すると、監査パッケージを送信できるようになります。

監査対象として選ばれると、監査要件を満たすまで資格認定プロセスが中断される場合があります。

監査に合格すると、1年間の受験期間が開始されます。

提出内容に不備があると処理されず、監査不合格となります。意図的に監査に応じない場合も監査不合格となり、PMI資格認定の申請資格は1年間停止されます。

注：通常、監査対象は無作為に選択されますが、PMIは資格認定後を含めいつでも、監査対象の出願者を選択できる権限を有しています。資格取得後に監査要件を満たせない場合、返金対象外となります。

試験の方針と手続き

試験で使用する言語

すべてのPMI試験は、英語で受験できます。一部のPMI試験は翻訳されており、最大15言語から受験できます。

PMI-ACP試験は、アラビア語、ポルトガル語（ブラジル）、日本語、韓国語、スペイン語でも受験できます。

PMI-CAPM試験は、アラビア語、ポルトガル語（ブラジル）、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、スペイン語でも受験できます。

PMP試験は、アラビア語、ポルトガル語（ブラジル）、インドネシア語、フランス語、ドイツ語、ヘブライ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポーランド語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、繁体字中国語、トルコ語でも受験できます。

単一言語試験は、PMI試験のセキュリティと守秘義務（PMI Test Security and Confidentiality）の規則により保護されています。

翻訳された試験を受験する場合、試験全体が選択した言語で実施されます。この場合、試験前後の画面を含むすべてが選択した言語で表示されます。試験中に、試験問題および回答の選択肢を英語で確認したい場合、問題画面に表示される「Exhibit（表示）」ボタンを使用すると、問題および回答の選択肢が英語で表示されます。

予約済みの試験の言語は変更できませんのでご注意ください。英語での試験を予約した後で別の言語を希望する場合、必ず既存の受験予約をキャンセルしてからご希望の言語をPMIにご連絡ください。

受験上の配慮

受験に不利な影響を及ぼす障害や事情等がある場合、PMI試験の実施条件の変更を要請できます。受験上の配慮を申請しても追加費用はかかりません。

注：支払い手順の中で、必要な受験上の配慮を記載してください。詳細については、<https://www.pmi.org/certifications/certification-resources/process/accommodations>を参照してください。

受験上の配慮を申請した後で、その証明となる医療文書をPMIにEメール（certexamdelivery@pmi.org）で送付してください。証明書類の提出がない場合、配慮を申請しても考慮されません。PMIが受験上の配慮を承認するまで、試験は予約できません。

PMIは、既存の受験予約に対しては受験上の配慮を追加できません。必要な受験上の配慮を、受験料の支払いプロセスの中で申請しなかった場合、早急にお問い合わせください。既に受験予約が完了している場合、受験予約をキャンセルしてから配慮を申請する必要があります。この方針に例外は認められません。

注：受験上の配慮が必要な場合、オンライン監督試験を受験できない場合があります。

試験の方針と手続き

受験に関する法的制約

PMIIには、米国の輸出規制および制裁に関する法令が適用されます。試験実施を含むPMIのPRODUCTおよびサービスは、米政府の承認がない限り、米国の包括的制裁対象国、または米政府が管理する指定団体の特定リスト（米国財務省外国資産管理局（OFAC）が管理する特別指定国民・凍結者（SDNリスト）を含む）に記載された人物または団体に、輸出、再輸出、または別の方法で提供することを禁止されています。

上記の理由により、受験申請者は申請手続きの中で、申請者自身が、米政府が管理する指定団体リストに含まれていないこと、米国の包括的制裁対象国（現時点ではキューバ、シリア、北朝鮮、ウクライナのクリミア地域）の当局といかなる点でも関係がないこと、さらに米国の包括的制裁対象国の通常または永久的な居住者ではないこと（米政府が該当国の通常または永久的な居住者に対して当該試験の提供を承認している場合を除く）を証明する必要があります。

輸出規制および制裁に関する法律は随時変更されることがあるため、PMIIは必要に応じて上記の制約に対して変更や追加を行う権利を有します。

試験の方針と手続き

受験資格

申請が承認されると、1年間の受験期間が開始されます。認定料の支払いが完了すると、PMIは出願者にEメールでPMI受験IDを通知します。このIDは、試験を予約する際に使用します。

注：申請が監査対象として選ばれた場合、監査の合格通知を受け取った日から受験期間が開始します。

PMP試験のオンライン監督試験オプション（OPT）は、所在地にかかわらず、中華人民共和国の国籍を持つ方は利用できません。中国本土では、紙ベースのテスト（PBT）のみ利用できます。

受験期間（試験を受けることができる期間）は**1年間**です。この1年間で、最大3回（1回目、2回目が不合格の場合）の受験が可能です。

PMIは、試験会場の座席やオンライン監督試験の実施時間を保証または予約できません。受験希望日が決まり次第、少なくとも受験期間が終了する3か月前までに、受験予約を行うことを推奨します。

注：予約通知に記載された固有のPMI受験IDを必ず保管してください。この番号は、試験に登録する際に必要です。

受け取った受験予約確認、やり取りした内容は、控えとしてすべて保存してください。

試験の方針と手続き

受験の予約方法

受験予約に関するEメールに記載された手順に従います。

オンライン監督試験と会場試験の予約変更/キャンセル方針

オンライン監督試験または会場試験の予約は、予約した試験の48時間前までは、いつでも変更、キャンセルできます。ただし、会場試験およびオンライン試験には定員があるため、予約の変更やキャンセルが遅れた場合には料金が発生します。受験予約の変更やキャンセルは、出席できないことが判明した時点で早急に行うことを推奨します。

次の方針をよくお読みください。

予約した受験日の30日前以内

予約した試験日の30日前までに予約を変更またはキャンセルした場合、70米ドルの料金が発生します。出願者が直前になって受験予約を変更またはキャンセルすると、他の出願者に割り当てることができる席を直前まで確保していることになるため、この料金が適用されることで、より多くの方が席を利用できるようになります。

この料金は、30日前以内に試験実施ベンダーのウェブサイト オンラインでアクセスし、受験予約を変更またはキャンセルした場合に発生します。その場合、ベンダーは70米ドルを出願者のクレジット・カードに対して請求します。

「30日前以内」の期間に、予約した受験日は含まれません。例えば、5月5日の試験を予約した場合、4月4日までに試験予約を変更またはキャンセルしなければ料金が発生します。

緊急事態により、予約した受験日の30日前以前に予約を変更できない場合、酌量すべき事情に関する方針が適用される可能性があります。ただし、PMIは個別に状況を評価し、予約変更料の返金が適切か否かを判断します。

予約した受験日の48時間前以内

受験予約は、予約した試験の48時間前（現地時間）までに変更またはキャンセルする必要があります。予約した試験の48時間前を過ぎると予約のキャンセルは不可となり、試験に欠席した場合は受験料の全額が返金対象外となります。この時点で予約変更はできなくなり、改めて試験を予約するには、関連する再受験料を支払う必要があります。

例

予約した 受験日	受験予約を変更または キャンセルした日付	料金
30日方針		
5月5日	4月4日（より前）	無料
5月5日	4月5日（から5月2日まで）	US\$70
48時間方針		
5月5日午前8:00	5月3日午前8:00より前	US\$70
5月5日午前8:00	5月3日午前8:00以降（予約の変更や キャンセルはできません）	受験料全額

試験の方針と手続き

オンライン監督試験または会場試験の予約を変更、キャンセルする方法

予約の変更またはキャンセルは、PMI.orgのウェブサイトにてオンラインで行えます。[PMI.org](https://www.pmi.org)アカウントにログインし、「Your examination has been scheduled（受験日が予約されています）」の下に表示される「Reschedule Exam（受験日の変更）」または「Cancel Exam（受験のキャンセル）」リンクをクリックしてください。試験実施ベンダー経由で受験予約を変更またはキャンセルするためのページが表示されます。ここで、現在の予約詳細を確認できます。予約の変更とキャンセルの選択肢が表示されます。

受験方法の変更（オンライン監督試験から会場試験、または会場試験からオンライン監督試験へ）を希望する場合、オンラインで現在の受験予約をキャンセルし、改めて受験方法を選択して受験予約を行います。PMP試験のオンライン監督試験の受験資格には、制限が適用されます。

留意点：予約した受験日の30日前を過ぎている場合、PMIカスタマー・ケアにご連絡ください。キャンセル方針が適用されます。

試験の48時間前を過ぎると、予約はキャンセルまたは変更できません。この場合、試験を受けなくても受験料全額が返金対象外となります。

受験予約の変更またはキャンセルは、Eメールで連絡しないでください。Eメールでの連絡は無効扱いとなります。

インターネット接続や、オンラインでの予約変更またはキャンセルに問題が発生した場合は、試験実施ベンダーに直接電話して予約を変更またはキャンセルしてください。試験会場に、予約変更またはキャンセルの電話はしないでください。

ピアソンVUEの連絡先：<https://home.pearsonvue.com/Test-takers/Customer-service.aspx>

ATAの連絡先：CustomerService@ata.net.cn（カスタマー・サポート）

2021年より、中国の受験者には変更、キャンセル、および酌量すべき事情について、CITEFウェブサイトのスケジュールとポリシーの順守が義務付けられています。不明な点やリクエストがありましたら、CITEFウェブサイト（<http://exam.chinapmp.cn>）で詳細をご覧ください。

試験の方針と手続き

返金方針

購入日から30日以内であれば、その期間内に認定試験を予約および受験しないことを条件に、返金を申請できます。

返金処理が完了すると、申請はクローズされ受験期間は無効になります。購入日から31日以上経過し、予約した受験日の48時間前までは、予約変更料が発生します。予約した受験日から48時間前以内の場合、全額が返金対象外となり、予約の変更もできなくなります。

次の場合、PMIは返金に対応しません。

1年間の受験期間が切れており、かつ受験予約を行っていない場合は返金対象外です。料金全額が徴収されます。入会金は別用途に使用できません。それでも資格の取得を希望する場合は、再申請して関連料金をすべて支払う必要があります。

受験日を予約したにもかかわらず受験せず、PMIの試験管理パートナーに予約のキャンセル/変更について必要な通知を行わなかった場合、返金対象外となります。この場合も料金は徴収され、別用途には適用できません。

注：返金申請を送信するには、[お問い合わせ](#)ください。

試験の方針と手続き

酌量すべき事情

PMIでは、やむを得ない理由で次の状況が発生する可能性を理解しています。

1. 予約した受験日から30日前以内の、受験予約の変更またはキャンセル。
2. 受験日を予約したが受験できなかったこと（欠席）。

上記のような酌量すべき事情には以下が含まれます。

- ・ 医療的緊急事態
- ・ 軍事展開
- ・ 近親者の死亡
- ・ 近親者の病気
- ・ 自然災害

酌量すべき事情に仕事関連の理由は含まれません。

該当する状況が発生した場合、PMIは出願者の状況を調査し、適切に対応します。

1. やむを得ない理由により、予約した受験日の30日前以内に受験予約を変更またはキャンセルする場合：

予約した受験日に出席できないことが判明した時点で、早急に[PMIの資格認定システム](#)にオンラインでアクセスし、受験日を変更またはキャンセルしてください。受験料として70ドルが請求されますが、PMIカスタマー・ケアに状況を説明する証明書類（事故報告書、医療文書など）を提出してPMIに承認されれば、予約変更/キャンセル遅延料が返金されます。

2. やむを得ない理由により、予約した受験日に受験できなかった（欠席した）場合：

欠席した受験日から72時間以内にPMIカスタマー・ケアにご連絡ください。状況に応じて、説明と証明書類（事故報告書、医療文書など）の提出が求められます。PMIが承認すれば、違約金なしで受験予約を変更またはキャンセルできます。

PMIは、すべての申請を個別にレビューします。酌量すべき事情の申請が却下された場合、受験するには再受験料を全額支払う必要があります。

欠席ステータス

定められた期間内に試験実施ベンダーまたはPMIに受験予約の変更またはキャンセルを通知せず、予約した受験日に受験しなかった場合、欠席とみなされます。欠席として処理されると、受験料は徴収され、改めて受験予約を行う際に再受験料を全額支払う必要があります。

試験の方針と手続き

PMI試験のセキュリティと守秘義務

試験、解答用紙、ワークシート、および/またはその他のテストやテスト関連資料は、PMIの独占資産です。これらは機密情報であり、どのような理由があっても、いかなる人または機関もレビューできません。

受験結果（合格/不合格）は機密情報であり、法的に有効な召喚状または裁判所命令がない限り、いかなる人にも当該受験者の合意なく開示されることはありません。受験者本人が受験結果を第三者に開示することを希望する場合、当該受験者はPMIに対し、第三者または第三者機関が受領すべき受験結果の詳細の種類（受験日、合格/不合格のステータスなど）を具体的に明示する文書を提出して要請する必要があります。

申請書を提出した時点で、当該申請者はPMI資格認定申請および更新の同意条項（本ハンドブック参照）への準拠を承諾したものとみなされます。この文書では、特に試験実施後の問題および議論に言及しています。具体的には、次のとおり記載されています。**「... 私は、PMI 試験問題およびコンテンツの機密を保持します。また、私は、PMI 試験問題と回答の内容についていかなる場合も他人と議論、報告、開示しないことに同意します。」**

このような議論は、資格認定申請および更新の同意条項に対する違反の可能性ありとみなされ、資格認定の取り消しまたはPMI資格試験の受験の永久停止までを含め、資格認定ステータスに影響を及ぼす可能性があります。

データ・フォレンジクス

PMIは、試験実施データのフォレンジクス分析に、精神測定学者（統計学者）を含む独立した第三者セキュリティ・ベンダーを採用しています。これらの分析は、試験の妥当性を保護するために設計されており、試験スコアが当該受験者の知識または能力を適正に測定していないことを示す証拠を探索します。PMIは、この分析のみに基づいて無効である可能性が特定されたスコアを保持、取り消し、キャンセル、またはその他の適切な措置を講じる権限を有します。

統計的証拠は、不正行為の可能性を探る調査、または懲戒処分にも使用される場合があります。この方針は統計的証拠に適用されますが、その一方で、統計とはみなされず、受験者に対して措置を講じるに十分とみなされる別の種類の証拠がフォレンジクス分析で明らかになる可能性もあります。この場合の措置には、試験のキャンセル、無効化、取り消し、さらにPMIが独自の裁量に基づき決定する措置が含まれますが、これらに限定されません。

取り消された資格の公開

PMIは、資格要件を満たす個人のみがPMI資格を取得するよう努めています。しかし、例えば個人が試験で不正を行った、および/または合格するために代理人を使用したとPMIが判断するなどして、資格認定後に個人の資格を取り消さざるを得ないこともあります。その場合、PMIは該当者に通知したうえで、氏名、PMI ID番号、試験名、資格番号をPMI.orgに掲載します。

試験の方針と手続き

受験者のセキュリティ確認

試験開始前に、すべての受験者に受験者のセキュリティ確認（Candidate Security Acknowledgement、CSA）が表示されます。

「この試験の受験者として、あなたにはPMI資格認定申請/更新の同意条項に定められた規定、およびPMI倫理・職務規定に準拠する必要があります。試験開始前に、以下をお読みいただき、同意してください。

私は、すべてのPMI資格認定プログラムの方針および要求事項に従います。不順守があった場合、PMIから私に対して、それに対する調査および試験結果のキャンセルや今後の受験禁止を含めた制裁が実施される可能性があることを理解しています。

私は、PMI試験が機密情報であることを理解しています。私は、いかなる場合も、自分以外の受験者、教育提供者、試験準備サービスを含むいかなる人物または企業に対しても、試験の問題、内容、解答の議論または開示を行いません。

私は、この試験を受験する前に、機密情報である試験の問題、内容、または解答に関する情報を、いかなる情報源からも受け取っていません。

私は、資格認定申請および更新の同意条項、PMI倫理・職務規定、またはPMI資格認定プログラムの方針に対する、私または私以外の人物による違反の可能性があれば、速やかにPMIへ報告します。」 CSAは、受験者が受験申請時に承諾した、セキュリティに関する一部の方針（すべてではありません）を確認するものです。CSAの一部またはすべてに同意しなかった場合、受験者の試験セッションはその時点で中止されます。

試験の仮スコア

受験者の試験セッション完了時に提示されたスコアは、受験者がPMIから公式な結果を受け取るまでの仮スコアとみなされます。

不正行為の報告

倫理・職務規定では、すべてのPMI会員、ボランティア、資格保有者、受験者に、PMI規則および方針に対する違反の報告義務があると定められています。試験での不正行為の可能性に関する詳細情報は、Eメールをexamsecurity@pmi.orgに送信することでPMI試験セキュリティ・チームに直接報告できます。

PMI試験セキュリティ・プログラムの詳細については、<https://www.pmi.org/certifications/exam-security>をご覧ください。

試験の方針と手続き

試験会場での要求事項と指示

試験会場に入場するには、有効な最新の（期限切れではない）政府発行の身分証明書が必要です。身分証明書には、以下が必要です。

1. 英文字で記述されているか、英語に翻訳されていること
2. 本人の写真
3. 本人の署名

政府発行の身分証明書に写真または署名が含まれていない場合、受験者の写真および/または署名（政府発行の身分証明書に含まれていない項目）、ならびに受験者の氏名が記載された証明書を2つめの身分証明書として使用できます。すべての身分証明書は最新（期限切れではない）のものでなければなりません。

試験会場で提示するすべての身分証明書は、予約通知に表示されている氏名と正確に一致する必要があります。身分証明書類は良好な状態で保管する必要があります。折り曲げ、擦り切れ、テープ貼付、ひび割れ、その他どのような損傷もあってはなりません。身分証明書類は、コピーではなく原本を用意してください。身分証明書類に記載された氏名が、予約通知に記載された氏名と正確に一致しない場合、または身分証明書に損傷がある場合、受験は許可されません。この方針に例外はありません。

適切かつ/または一致する身分証明を提示できない場合、受験は許可されません。それでも受験を希望する場合は、有効な身分証明書を入手してから再受験の申請、再受験料の支払いを完了すると、後日改めて受験できます。

使用できる政府発行の身分証明書は次のとおりです。有効な運転免許証

有効な軍人身分証

明書

有効なパスポート

有効な公的身分証明カード

2つめの身分証明書として使用できる証明書は次のとおりです。

有効な社員証

有効な署名入りクレジット・カード

有効な銀行（ATM）カード

次の身分証明書は無効です。社会保障カード

図書館

カード

氏名変更手続き

受験料の支払いが完了すると、PMIから受験資格通知がメールで届きます。この受験資格通知の「身分証明書に記載された氏名」欄に、受験日に表示される氏名が記載されています。資格認定試験を受けるために氏名の更新または変更を希望する場合は、早急に[お問い合わせ](#)のうえ、変更を要請してください。

試験の方針と手続き

変更要請は、試験会場で提示する予定の政府発行の身分証明書類に記載された次の情報を正確に記載して提出してください。

名（ファースト・ネーム）
ミドル・ネーム
姓（ラスト・ネーム）

氏名の変更については、可能な限り速やかにお知らせください。予約した受験日から5日前以内にご連絡いただいた氏名変更は、当日までの完了を保証できません。

チェックイン手続き

受験当日は、予約した時間の30分前までに会場へお越しください。サインイン、必要な身分証明書の提示、PMI受験資格IDの提示を行う必要があります。チェックイン・プロセスでは、写真撮影と署名を求められます。予約時に受け取った確認番号を提示するよう求められる場合もあります。

試験会場への持ち込みが禁止されている物：

試験実施場所と受験時に使用する座席には、何も持ち込めず、誰も同伴できません。これには以下が含まれますが、これらに限定されません。

食べ物	飲み物	ブックバッグ
コート	セーター	荷物
計算機	眼鏡ケース	ポケットベル
携帯電話	録音機	辞書
時計	財布	医薬品
点眼薬	その他の個人の持ち物	

セーターやアクセサリなどは試験会場で着用できますが、受験する部屋に入室した後は脱いだり取り外したりできません。

受験当日は、個人の持ち物を保管するためのロッカーを使用できます。持ち物を保管した後は、予約した試験を完了するまでロッカーに戻ることはできません。

医学的理由により、食べ物、飲み物、薬などの持ち物を試験室に持ち込む必要がある場合、受験日を予約する前にPMIの承認を得る必要があります。承認の取得方法について、詳しくは受験上の配慮方針を確認してください。

試験の方針と手続き

試験会場での注意事項

受験当日は、予約した時間の30分前までに会場へお越しください。予約時間に遅れると受験できません。試験会場へのサインインと、身分証明書類の提示が求められます。受験確認通知の提示を求められる場合もあります。試験会場の管理者から、ポケット内を空にして袖をまくるよう指示され、金属探知機でスキャンされます。受験者にはロッカーとその鍵が支給され、個人の持ち物を安全なロッカーに保管するよう求められます。試験会場の管理者は、受験者のポケット内にあるすべての持ち物をロッカーに保管するよう指示できる権限を有します。常に携行できる持ち物は、政府発行の身分証明書とロッカーの鍵のみです。持ち物を保管した後は、予約した試験を完了するまでロッカーに戻ることはできません。

チェックイン・プロセスを完了したら、試験会場の管理者から「メモ用の小冊子1冊、鉛筆2本」または「消去可能なマーカー・ボード2つ、マーカー2本、マーカー消し1つ」のいずれかが支給されます。2種類の筆記具セットのうちどちらが支給されるかは、試験会場の備品により異なります。受験者は、メモ用紙とマーカー・ボードのどちらを使用するか選択できません。コンピューター・ベース試験（CBT）には、計算機が搭載されています。ただし、試験中はいつでも挙手して携帯型計算機を要求できます。ペーパー・ベース試験（PBT）の受験者全員には、携帯型計算機が支給されます。試験中に追加のメモ用紙が必要になった場合、挙手して要求してください。試験会場の管理者により使用後のメモ用紙が回収され、新しい小冊子が支給されます。試験を受ける場所で受験者が持てるのは、1冊のメモ用紙または2つのマーカー・ボードのいずれかのみです。

その後、試験会場の管理者により試験室へと案内され、割り当てられたワークステーションへの着席を促されます。着席後、試験を開始してください。最初の画面で、氏名と受験する試験名を確認するよう求められます。これを確認すると、試験のチュートリアルが始まります。CBT試験には時計が表示され、チュートリアルが始まるとカウントダウンが開始されます。受験者は、いつでもチュートリアルを終了できます。受験者が自分でチュートリアルを終了しない場合、15分経過するとチュートリアルが自動的に終了し、試験が始まります。試験中は、所定の時間に1回の休憩が予定されています。予定されている以外の休憩が必要な場合、端末から離れ、試験室を退室できます。すべての受験者は、試験室へ入退室するたびに、試験室へのサインインおよびサインアウトを行い、政府発行の身分証明書類を提示する必要があります。

すべて試験は、音声および映像の連続記録により監視されます。

試験会場で何らかの異常を認めた場合、または試験中に何らかの問題が発生した場合、挙手して試験会場の管理者に問題が発生した旨を知らせる必要があります。

試験で使用する用具

受験者による試験会場への計算機やメモ帳の持ち込みは禁止されています。ただし、以下のとおり、これらの用具は受験当日に試験会場に受験者に支給されます。

計算機：CBT試験の場合は計算機が搭載されており、PBT試験の場合は受験者に計算機が支給されます

筆記用具：試験中は次のいずれかを使用してメモを取ります

- メモ帳と鉛筆、または
- 消去可能なボードとマーカー

オンライン監督試験（OPT）の受験者には、ベンダーのシステムを介してバーチャル・ホワイトボードが提供されます。

試験の方針と手続き

オンライン監督試験のチェックイン手続き

オンライン監督試験への適切なアクセス方法については、試験実施ベンダーのウェブサイトで確認してください。

ピアソンVUEのウェブサイト：<https://home.pearsonvue.com/Clients/PMI/OnVUE-online-proctored.aspx>

ATAのウェブサイト：<https://vip.eztest.org/client/pmi/home/index>

試験の中止/強制退席の理由

試験会場に滞在する間、またはオンライン監督試験を受ける間、受験者はプロフェッショナルとして振る舞うことを期待されています。PMI試験のセキュリティおよび守秘義務方針に違反した受験者は、PMI資格認定部会による懲戒の対象となります。

受験者が次の行為を行ったと結論付ける合理的な根拠がある場合、試験会場の管理者/スーパーバイザーまたは監督者は、当該受験者の受験を中止する権限を有します。また、PMI資格認定部会はスコアを取り消す場合があります。

1. 本人以外の人物が受験した、またはそれを試みた
2. 前述したとおりの適切な身分証明書を提示できない
3. 試験で禁止されているメモやその他の用具を使用できる状態にしている、またはそれらを使用した
4. 迷惑行為（いかなる形の問題行動も許容されません、試験管理者/監督者は独自の裁量により、特定の行動が迷惑行為とみなされるか否かを判断できます）
5. 試験実施中に、援助する/援助されることを試みた場合を含め、何らかの方法で試験管理者/スーパーバイザーまたは監督者以外の者とやり取りした
6. メモ帳を試験室から持ち出そうとした、または何らかの形でメモ帳を切り離そうとした
7. 試験室内で飲食した
8. 許可なく試験室または試験会場周辺から離れた
9. 試験関連資料または試験の一部を、何らかの形で試験室から持ち出した、または持ち出そうとした
10. コンピューターに不正な変更を加えようとした
11. 不正行為または非倫理的な行為に及んだ
12. 試験管理者/スーパーバイザーまたは監督者が指定した、または試験関連書類に指定されたPMI資格認定プログラム方針に定められた、上記以外の試験実施規則に違反した

PMI資格認定部会は、試験の管理者/スーパーバイザーによる指示またはPMI資格認定プログラム方針に準拠しなかった受験者に対し、今後の受験禁止および/またはスコアの取り消しを含む（ただしこれらに限定されない）あらゆる措置を講じる権限を有します。スコアが取り消された受験者には、講じられた措置とその根拠が通知され、受験料は返金されません。

試験は、厳格な監督下で十分なセキュリティ措置を講じて実施されますが、不測の事態が発生する可能性もあります。スコアの無効化につながる行為があったことがわかった場合、早急にPMIに報告することが義務付けられています—例えば、受験者が別の受験者の解答を写している、別の受験者に代わって受験している、試験前に試験問題の閲覧等を行っている、メモや許可されていない用具を使用している場合などです。すべての情報は機密情報として取り扱われます。

試験の方針と手続き

試験レポート

試験を完了すると、受験者には仮の試験結果のコピーが提供されます。総合的な合格/不合格ステータスだけでなく、重要な情報である各分野のパフォーマンス診断も提供されます。この情報から、合格者と不合格者のいずれも具体的な指針を得ることができます。受験者の試験セッション完了時に提示されたスコアは、受験者がPMIから公式な結果を受け取るまでの仮スコアとみなされる点に留意してください。

試験会場で試験を受けた受験者には、受験日当日に試験会場で試験レポートが配布されます。この試験レポートは、受験日から10営業日以内に、オンライン資格認定システム上でアクセスできるようになります。オンラインで試験レポートを閲覧できるようになると、Eメールでその旨が通知されます。

合格スコアの決定方法

PMI試験の合格スコアは、十分な心理分析に基づき決定されます。PMIは、世界中のプロジェクト・プロフェッショナルや、その他多くの専門分野における当該分野専門家を登用し、試験の合格に必要な正解数を決定します。

このハンドブックに記載されるPMI試験は、「基準に基づく試験」とみなされます。つまり、試験の合格/不合格は、試験対象の職務における有資格者（PMPの経験豊富なプロジェクトマネジャー、ACPのアジャイル実務者など）の基準を満たしているか否かにより判定されます。その基準が、採点において期待し、支持する標準となります。

このハンドブックに記載されるPMI試験には、採点対象と採点対象外の項目が含まれます。資格認定候補者は、採点項目で評価されます。テストで回答した各項目（質問）は、（評価基準において）候補者の習熟度のサンプルとなります。各質問から情報を収集して全体的な習熟度を判定し、その習熟度を標準と比較します。

資格認定の方針と手続き

資格認定料

適用される料金は、PMI会員ステータスにより異なります。資格認定料を支払う時点で会費が納付済みになっているPMI会員には、PMI会員料金が適用されます。資格申請を行う直前に会員登録を申請した場合、資格認定料を支払う前に会員確認を必ず受け取ってください。資格認定料を支払う前に会員登録処理が完了しなかった場合、非会員料金が適用されます。

資格認定料を支払った後でPMI会員になった場合、差額は返金されません。[PMI会員のベネフィット](#)をすべて確認するか、[今すぐ会員登録](#)してください。

PMI資格の取得に要する料金は、会員や地域の価格ルールによって異なります。PMI.orgから資格認定メニューにアクセスして、最新の価格を確認してください。

資格認定の方針と手続き

資格認定の方針と手続き

資格認定の方針と手続き

再受験

受験者には、1年間の受験期間が付与され、受験者はこの期間内に試験に合格する必要があります。受験者は1回で合格できない場合もあるため、受験期間中に3回まで受験できます。必要に応じて再受験が可能なため、受験期間は正確に把握してください。

合格を目指して試験を2回、3回受ける場合、再受験料が必要になります。

1年間の受験期間中に3回不合格になると、最後の受験日から1年間経過しなければ資格認定に再申請できません。ただし、資格認定試験に3回不合格になった後でも、受験者は別のPMI資格に申請できます。

不合格のまま受験期間が終了した場合、資格認定の再申請を行う必要があります。

資格認定苦情対応プロセス

資格認定プロセスに関連するすべての苦情は、資格認定苦情対応プロセスで管理されます。苦情の例には次が含まれますが、これらに限定されません。

- 資格認定プロセスに関する問題
- 試験内容に関する問題
- 試験の実施に関する問題

資格認定に関連するすべての苦情は、その事象/事案発生から30日以内に、PMIに対して文書で以下の宛先に報告する必要があります。

Eメールで送信する場合：certcomplaints@pmi.org

すべての苦情には、行動または決定を変更すべき理由を含め、苦情を正当化する証拠と、要求の趣旨を記載する必要があります。苦情には次の情報が必要です。

- 苦情提出者の氏名とEメール・アドレス
- 該当する場合、苦情の原因となった人物の氏名
- 違反が起きたPMI資格認定方針および/または手続きへの言及、方針および/または手続きがどのように違反されたかの説明、および
- 苦情を裏付ける適切な証拠

苦情を受けてから3日以内に、受信確認を文書にて行います。苦情が提出されても必要な情報が含まれていなかった場合、その旨が提出者に通知されます。苦情提出者は、30日以内に不足情報を提出する必要があります。必須情報が30日以内に提出されない場合、要求はクローズされます。

苦情のレビューおよび妥当性評価は、建設的かつ公平に、適切なタイミングで行われます。決定から3営業日以内に、苦情提出者に結果が通知されます。講じられた措置をはじめとする苦情の記録と決定事項は、PMIが保管します。苦情に関するすべての情報は機密扱いとなります。

苦情提出者は、決定通知から10日以内にその苦情をエスカレーションする権利を有します。エスカレーション要請は文書で提出する必要があり、Eメールまたは郵便で上記宛先のいずれかに送ることができます。

正当な遅延理由がない限り、PMIがエスカレーション要請を受領してから10日以内に、そのエスカレーションに関する決定が要請者に通知されます。遅延が予想される場合は、その旨が通知されます。

資格認定の方針と手続き

資格認定の再審査請求手続き

PMIの資格認定プログラムに対するすべての申し立ては、PMI資格認定の再審査請求手続きにより管理されます。この再審査請求プロセスは、希望する資格認定ステータスに関するPMIの決定をレビューする唯一の手段です。再審査請求の例には次が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

資格申請の却下

監査不合格に関する係争

CCR要件の不履行が原因の資格取り消し

受験者の不正行為に基づく試験結果の無効化と関連措置

資格認定に関連するすべての再審査請求は、その事象/事案発生から30日以内に、文書で以下のPMI資格認定の再審査請求担当部署に報告を提出する必要があります。

Eメールで送信する場合：certappeals@pmi.org

再審査請求を要請する場合、行動または決定を変更すべき理由を含め、再審査請求を正当化する証拠と、要求の趣旨を含む要請を提出する必要があります。

再審査請求には次の情報を含む必要があります。

再審査請求要請者の氏名とEメール・アドレス

再審査請求を認めるべき理由、および

再審査請求を正当化する適切な証拠。

再審査請求を受領してから3日以内に、受信確認を文書にて行います。

再審査請求のレビューおよび妥当性評価は、建設的かつ公平に適切なタイミングで行われます。正当な遅延理由がない限り、PMIが再審査請求を受領してから30日以内に、再審査請求に関する決定が要請者に通知されます。遅延が予想される場合は、その旨が通知されます。講じられた措置をはじめとする再審査請求の記録と決定事項は、PMIが保管します。再審査請求に関するすべての情報は機密扱いとなります。

*既存会員の会員資格に影響を及ぼす懲戒の決定は、PMIの[倫理面の苦情対応プロセス](#)に準じ、委員会が承認した再審査請求プロセスに沿って別途評価されます。

資格認定の方針と手続き

PMI資格の使用について

試験の正式な合格通知を直接PMIから受け取った時点で、その資格が授与されます。この資格ステータスが有効である限り、資格保有者として名乗ることができます。名刺、個人のレターヘッド、履歴書、ウェブサイト、Eメールの署名で、氏名の後にブロック体で資格名を記載できます。資格保有者は、申請プロセスの一環として、[PMI倫理・職務 規定](#)、および[資格認定申請/更新の同意条項](#)の順守を承諾しています。つまり、資格名は前述した方法でのみ記載し、企業名、ドメイン名、プロダクト名、その他の承認されていない方法で資格名を記載することは許可されていません。

資格認定書

資格認定書のデジタル・バージョンをダウンロードできます。

資格認定書のPDFコピーをダウンロードするには、<https://certification.pmi.org>にログインしてください。

- 左側のナビゲーションで、「My XYZ®」セクションをクリックします。
- 展開されたセクションの下部に表示される「Download Certificate（資格認定書のダウンロード）」リンクをクリックします。

デジタル・バッジ

デジタル・バッジを受け取ることもできます。デジタル・バッジを受け取る資格があるかについては、デジタル・ベンダーから連絡があります。

オンライン資格登録

オンライン[資格登録](#)には、PMI資格保有者の氏名が自動的に一覧表示されます。資格保有者を検証できるため、雇用者、サービス購入者などには有用な機能です。ユーザーは、名、姓、国を指定して資格保有者を検索できます。

資格保有者は登録を辞退できるため、登録リストに名前が表示されていなくても、認定されていないということにはなりません。登録の辞退、または情報の更新を行う場合は、PMI.orgにアクセスしてください。

資格認定継続要件（CCR）プログラム

CCRプログラムの概要

PMIのCCRプログラムは、資格保有者が今日の複雑なビジネス環境下で生じる要求を常に満たせるよう、資格保有者の継続的な教育および専門的能力開発を支援するものです。CCRプログラムの目的は次のとおりです。

- 資格保有者の継続的な学習および能力開発を強化する
- 資格認定を受けた実務者の妥当性を確保するために、能力開発分野の方向性を提示する
- 個別学習の機会を奨励し、評価する
- 専門的な能力開発活動を行い記録する仕組みを提供する
- PMI資格の世界的な認知度および価値を維持する

すべてのPMI資格取得者は、CCRプログラムへの参加および3年ごとの資格更新を通じて、積極的に資格を維持する必要があります。

資格保有者は、専門的能力開発および学習活動に参加することで、資格認定継続要件を満たし、最終的には実務者として成長および能力開発するためのPDU（Professional Development Units）を取得できます。

各個人の専門的ニーズおよび希望は、それぞれ異なります。そのようなニーズに適応し、CCR活動をカスタマイズできるよう、CCRプログラムは柔軟な設計になっています。CCRプログラムでは、大まかな枠組みと指針が提供されています。つまり、最終的なCCRおよび能力開発パスは、ユーザー自身が決定します。

CCRでPDUを取得および追跡する方法については、[CCRハンドブック](#)をダウンロードしてご確認ください。

PMI倫理・職務規定

倫理とは、人、リソース、環境に最良の決定を下すことです。倫理的な選択は、リスクの軽減、良好な結果の促進、信頼の強化、長期的成功の実現、評判の確立につながります。リーダーシップと倫理的選択とは、切っても切り離せない関係にあります。

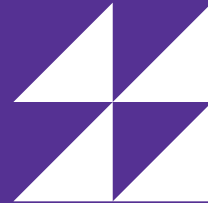
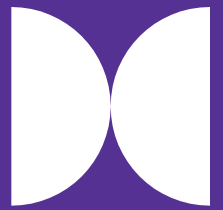
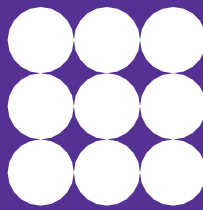
多くのPMI会員が、**誠実さ、責任感、他者への敬意、公平さ**がプロジェクトマネジメント・プロフェッショナルの倫理的行動を推進する価値だと判断しています。PMIの倫理・職務規定は、倫理的であることが最善の結果とされる実際のプロジェクトマネジメント業務に、これらの価値観を適用します。

すべてのPMI会員、ボランティア、資格保有者、資格申請者は、この規定を遵守しなければなりません。

[倫理規定](#) ページにアクセスして当社の規定をダウンロードし、よくお読みください。

PMI資格認定申請および更新の同意条項

[資格認定申請/更新の同意条項](#) ページにアクセスして、同意の内容をご確認ください。



POWERING THE PROJECT ECONOMY™

